



# 12年前日記

---

2000年1月16日  
(日)

---

山田夫妻

---

【2000年1月16日(日)】\*2012年1月16日(月)記

真昼12時、起床。超遅起きで軽めのワルジャブ。今日の不良ぶりも六日目ともなると、かなり飽きてきて、昨日と同じマンネリ気味の悪事をこなすため、親のクレジットカードで連泊。一泊963B、と言ってもまあ3000円くらいだから、親の財布から小金をくすねたみたいなものだから、かわいいもんだろ。もちろん、無事に帰国したら、ドラ息子じゃあるまい、ちゃんと返すから、一時的に無断借用したようなもんさね。

13時、往年の大記録を忍びながら、昼マック(90B)。あの頃と変わらぬ味にホロリと涙が…。いつもならお昼寝をしにホテルに戻るところだが、今日は超朝寝坊系不良なので、高い部屋のおいでおいでの誘惑を断ち切って、昼間徘徊。貧乏人の乗るスカイトレインには乗らない。タクシーやツクツクにもな。路線バスなんてありえねえ。

ヒマだから例の野良犬にリベンジしてやってもいいが歩くにはちょっと遠すぎるから。それに復讐は夜陰に紛れて派なの。今日のところは命拾いしたな、首洗って待ってよ、クソ犬め。

そんなことを考えながら、フラフラ歩いて紀伊国屋へ。親のクレジットカードで古本屋で抜けていた、文庫本を買う(366B)。貧乏人じゃあるまい、タイくんたりまできて古本なんか漁れるか。そんな志の低いことを、馬鹿馬鹿しい。

そんなもうすぐ夕下がり、雰囲気のある喫茶店に入り、アイスコーヒー片手に読書。一度っきりの24歳の時間はあっという間に過ぎ去り、すぐに夕暮れどきに。コップの底に横たわる、遠の昔に溶けて、すっかり生ぬるくなった氷水をすすり飲み干す。プロの技。素人は氷抜きにしないと腹を壊す可能性大だぜ。

安いホテルに泊まろうが高いホテルに泊まっていようが、変わらないライフスタイルを貫くのがプロの旅人さ。

ディナーは8番ラーメン(93B)。シーハーしながら、間違えてスカイトレイン(20B)に乗ってしまい、タクシーに乗ればよかったと後悔しながら、高級ホテル近くの駅まで。

20時、2日連続、貧乏人の心のオアシス、セブンイレブンに立ち寄らずに、ホテル着。読書したり、洗濯したり、シャワー浴びたり。

2時、就寝。今日もハードな一日だったが、主に金銭面でな。

○本日の出費、「計算するのが面倒臭いから、各々で適当にしといてよ」B。ついでに一日の流れも「いちいちうっとうしいから誰か簡単にまとめといて」ジャ〜。

『12年前日記 2000年1月16日(日)』

<http://p.booklog.jp/book/42485>

著者：山田夫妻

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yamadafusai/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/42485>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/42485>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.